

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>'2015年1月中旬から下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年10月中旬から下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。</p>	良くなっている	<p>現在の景気は、10月中下旬と比べ、基調的には改善の兆しがみられるものとする。</p> <p>供給面をみると、鉱工業生産予測指数は12月(前月比+3.2%)・1月(同+5.7%)と2ヶ月連続で増加する見込み。在庫は増加局面にあるものの、足元の生産活動は次第に拡大へと転じているとみられる。ただし、法人企業景気予測調査や日銀短観業況判断DIIによると、業況が良好なのは大企業が中心であり、企業規模によって状況が大きく異なることには注意が必要である。</p> <p>一方、需要面をみると、消費総合指数は概ね横ばいで推移しており、個人消費回復の動きはまだ鈍い状況にあるとはいえ、昨年8月からマイナスが続いていた消費者態度指数は12月にプラスに転じている。また景気ウォッチャー調査(12月・現状判断DI)は45.2と景気横ばいを示す50を下回っているものの、10月の数値(44.0)は上回る。</p>
デフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組			
2-1	<p>「経済財政諮問会議における今後の課題について」(平成26年12月27日経済財政諮問会議 甘利経済財政政策担当大臣提出資料)をご覧いただき、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	-	<p>別紙にあげられているデフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組は大変重要であり、すべてにおいて強化・加速すべきことと考える。</p> <p>あえてここで触れられていない視点として、歳入の増加について述べる。人口減少という日本の現実を踏まえれば、消費税の引き上げに加えて、納税者の裾野を広くし、税収の底上げをはかることを考える必要があるのではないか。</p> <p>例えば、健康で就業意欲の高い高齢者の活用を促進し、納税者へと転換をはかることが考えられる。そのためには、個々の体調などに合わせて、働き方の多様性を認めるなど、実態に合わせた制度の構築等が必要となる。</p>
2-2	<p>質問2-1でご提案いただいた取組について、その背景となる具体的な事例やモデルがあればご紹介ください。</p>	-	<p>上記提案に関しては、事例やモデルを提示する事柄ではないため、本欄は記載せず。</p>